

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年2月2日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年2月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【5号機残留熱除去海水系ポンプ(B)、(D)モーターシャフト接続部における配管内張の剥離について】 協力企業作業員が計画点検において、5号機残留熱除去海水系ポンプ(B)、(D)モーターシャフト接続部における配管内張の剥離を確認。 当該箇所はポンプ運転時、海水と接する箇所であり、放置した場合、海水に含まれる塩分により減肉する恐れがあるため、錆落とし等の応急手入れを実施予定。 現状、当該箇所は、錆が確認されているが、配管の減肉はないため、設備の性能等に影響を与えるものではない。	GⅢ	1月27日
2	【雑固体廃棄物焼却設備(B)系一酸化炭素・酸素分析装置の電子冷却器動作不良について】 協力企業作業員が雑固体廃棄物焼却設備(B)系計装品点検において、一酸化炭素・酸素分析計装置の電子冷却器の動作不良を確認。 一酸化炭素・酸素分析計の電源再投入並びに外観・目視確認を行ったが状況に変化がなかった。 原因としては、長期使用による部品の経年劣化と推定。今後、部品を交換予定。 雑固体廃棄物焼却設備(B)系は、現在停止中であるため設備運転への影響なし。	GⅢ	1月27日
3	【荷積み作業中における協力企業作業員の負傷について】 協力企業作業員が、台車および台車を支えるサポート(重量約35kg、長さ約1500mm)を移動させるため、トラック荷台へ積みこむ作業をしていたところ、運搬していたサポートと既に積み込んであったサポートとの間に左手小指を挟んだ。 被災した作業員は災害発生時、痛みが少しあったが、時間が経てば痛みが引くと思い、救急医療室等に連絡や受診をせずに退城。 その後、当社は元請企業より当該作業員が病院を受診し、左小指末節骨折、左小指挫創と診断されたとの報告を受けた。 今後、災害発生時の対応について、原因と再発防止対策を検討予定。	GⅢ	1月28日